

# 「財務応援Ai 公益法人会計」 伺い書対応版 概要(Ver.2.20)

「財務応援Ai 公益法人会計」 Ver.2.20で予定されている対応内容についてご案内致します。  
尚、商品リリースの際、機能等が若干変更される可能性がありますので、予めご了承ください。

## 1. データの利用について

### バージョンアップの対象バージョン・・・Ver.1.00以降

上記のバージョンからデータ移行が可能です。

#### 従来バージョンとのデータ互換性

財務応援 Ai 公益法人会計 Ver.2.20のデータは、従来バージョンのデータと互換性がありません。  
(バックアップ/リストアやファイル変換ツールでやり取りすることはできません)

バージョンアップを行うと、従来のバージョンのデータが自動的に Ver.2.20用にコンバートされます。  
Ver.2.20用にコンバートされたデータは、Ver.2.20より前のバージョンがインストールされている PC に戻すことはできません。

#### ブランチとのデータ互換性

財務応援 Ai ブランチとの連動を行っている場合で、財務応援 Ai 公益法人会計を Ver.2.20にバージョンアップする場合は、ブランチについても、Ver.2.20にバージョンアップする必要があります。

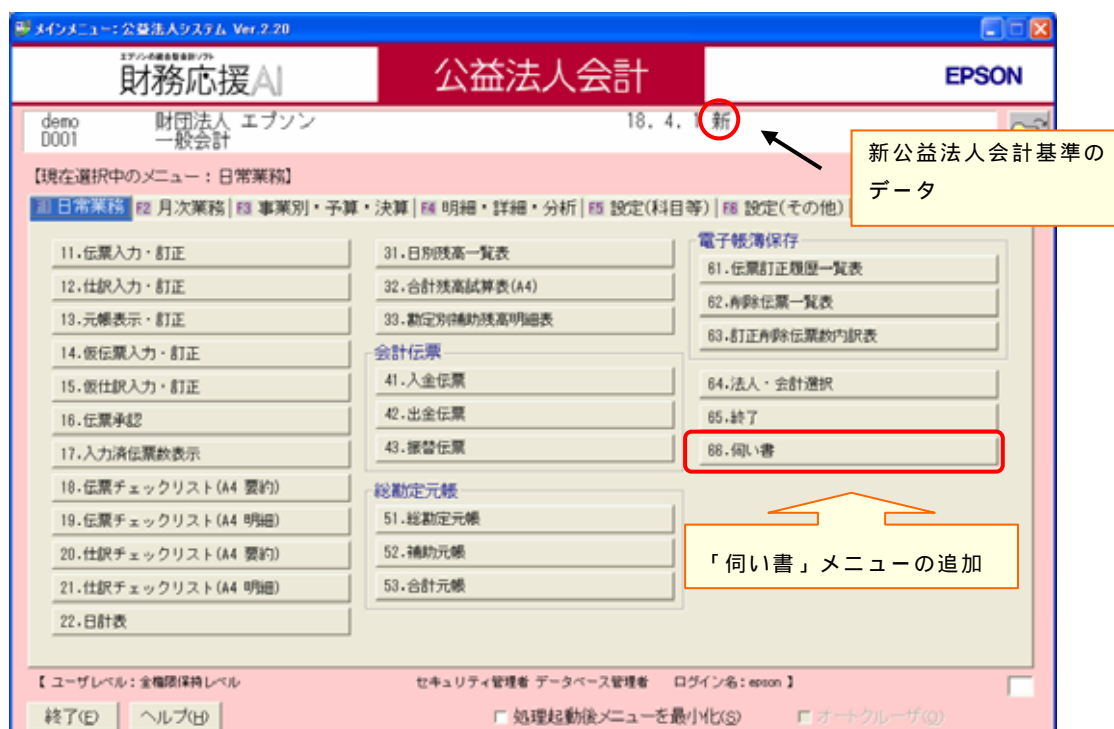
## 2. 機能アップの内容

### 伺い書の作成に対応

新公益法人会計基準のデータに「伺い書」メニューを追加します。

新公益法人会計基準のデータとは、期首年月日の表示のうしろに「新」と付いたデータのことです。

(「EPSONK03 エプソン標準法人 No3」を元にデータを作成すると、新公益法人会計基準のデータとなります)



### 「伺い書」機能の特長：

#### (1)伺い書のレイアウトを自由に設計でき、印刷できます

伺い書のレイアウト（印刷フォーム）を自由に設計できますので、法人独自の伺い書を作成することができます。

また、レイアウトへの色づけや、法人ロゴ等の画像も取り入れることができます。

帳表サイズは A4縦（1ページ）となります。

作成したレイアウト（印刷フォーム）のバックアップ/リストアが可能です。

#### (2) 予算の残額を確認しながら伺い書を入力できます

収支科目ごとの予算残額を確認しながら伺い書を入力することができます。

**(3) 一つの伺い書データを複数のレイアウトに印刷できます**

たとえば「伺い書」と「支出命令書」のレイアウトを別々に作成しておけば、一つの伺い書（入力データ）について、「伺い書」として印刷したり、「支出命令書」として印刷することができます。

**(4) 伺い書の決裁後、伝票として登録できます**

伺い書の入力時に仕訳を入力していただきます。

決裁を受けた伺い書を、伝票として登録することができます。

**(5) 伺い書の雛形を登録することができます（伺い書辞書）**

よく使う伺い書を雛形として登録し、随時呼び出して入力することができます。

### 3. 動作環境における注意事項

Ver.2.20で「伺い書」機能を利用する場合、動作環境において次の注意事項があります。

**Windows2000の場合、SP3以上が必要です**

Windows2000のマシンで「伺い書」機能を利用する場合、SP3以上が必要となります。

**クライアントでは、ローカルにプログラムがインストールされている必要があります**

クライアントで「伺い書」機能を利用する場合、クライアントのローカルディスクにプログラムがインストールされている必要があります。（クライアントのセットアップの際「ローカルディスクにプログラムをインストール」とする必要があります。）

**Windows98のクライアントは、「伺い書」機能の動作保証外となります**

上記(2)のとおり、「伺い書」機能を利用するには、クライアントにプログラムがインストールされている必要があります。しかし Windows98のクライアントはローカルディスクにプログラムをインストールできない（サーバのプログラムを使用する）ため、「伺い書」機能の対象外とさせていただきます。

### 4. 連動可能なオプション製品のバージョン

財務応援 Ai 公益法人 Ver2.20と連動可能なオプション製品は次のとおりです。

- ・財務応援 Ai 支払管理 Ver.1.20
- ・財務応援 Ai 入金管理 Ver.1.20
- ・財務応援 Ai 公益法人会計 Ex-リンク Ver.2.00

### 5. 動作環境

システムの動作環境は以下のとおりです。

使用環境	スタンドアロン	3 ユーザー版以上のネットワーク版	
	2 ユーザー版、ランチ	クライアント	サーバ (*7)
OS	Windows®2000Professional SP3 以上(*1) Windows®XP/ Windows®98(*2)	Windows®2000Server SP3 以上 Windows Server™ 2003	
メモリ	128MB 以上	256MB 以上	
CPU	お使いのOSが推奨する環境以上		
データベース (*3)	MSDE 容量制限 2GB	SQL-Server2000 SP3 (*4)	
HDD (*5)	空き容量 500MB 以上	空き容量 500MB 以上	空き容量 1GB 以上
ディスプレイ	解像度:1024×768 ドット(小さいフォント)以上 WindowsXPの場合は標準フォント 表示色:high Color(16Bit)以上		
ブラウザ (*6)	Microsoft® Internet Explorer 5.0 以上		
バックアップ装置	DATドライブを推奨 (*8)		
プリンタ	上記の対応 OS で使用可能な A3 対応レーザープリンタ (ポストスクリプト対応プリンタは除きます。)		

(\*1)：2ユーザー版では Windows2000Server SP3も動作保証します。

(\*2)：Windows®98はサーバが Windows Server™ 2003以外の場合で、2ユーザー版以上のクライアント PC で使用可能です。また、Windows®98では「伺い書」機能は動作保証外となります。

(\*3)：Microsoft SQL Server（または MSDE）はバンドル版です。バンドル版は財務応援 Ai 以外で使うことができません。

(\*4)：財務応援 Ai 公益法人会計 Ver.2.0以降の新規版をご購入されて継続利用されている場合は、SQL-Server 2000 SP4となります。

(\*5)：管理ファイル(登録データ)の容量は除きます。

(\*6)：対象ブラウザがセットアップされていないと、財務応援 Ai をインストールすることができません。

(\*7)：サーバの基本ソフトが Windows Server 2003の場合は、サーバにおける操作を、財務共通処理の <データベース管理> および <ライセンス設定> に限定させていただきます。

Windows 2000 Server の場合は、SP3以上になっている必要があります。

(\*8)：バックアップに十分な容量であれば、基本ソフトで使用可能なその他の装置でも構いません。

## 6. プロダクトIDについて 1ユーザー版およびブランチ版のみ

プログラムのセットアップ(インストール)時にプロダクトIDを入力していただきます。プロダクトIDは製品固有の24桁の数字で、同一のプロダクトIDは存在しません。1つの製品を複数のコンピュータにセットアップされた場合、2台目以降では、別のプロダクトIDを入力されるまでプログラムの起動ができなくなります。2台以上のコンピュータにプログラムをセットアップする場合は、使用するコンピュータ分のプログラムが必要です。

プロダクトIDが記載されたラベルは、CD-ROMのケースに貼られます。詳細は改版商品に同梱のご案内(手順書)をご参照ください。

### 【著作権・使用許諾契約について】

プログラムを使用するには、著作権法及び使用権許諾契約により、1台のコンピュータにつき1ライセンスの使用許諾が必要です。